

## 令和7年度 FD・SD 研修会 実施要領

主催元：国際総合科学群 FD・SD 推進委員会

テーマ：異分野横断型教育プログラムによる博士人材養成  
－熊本大学の10年余の取組と実績－

内 容： 前回6月の「大学院教育における国の政策的動向と将来の大学院教育を考える」の続編として、異分野横断型教育を重視した博士人材養成の実例について取り上げる。

熊本大学では、2012年度「博士課程教育リーディングプログラム」に採択された「グローカルな健康生命科学パイオニア養成プログラム HIGO」（終了後評価でS評価）以後、異分野横断型大学院教育への取組を継続・拡大、現在では全研究科共通のDPの一つとして「学際的領域を理解できる深奥な教養力」が掲げられ全学的な取組が行われるに至っている。今回、同大学で「グローカルな健康生命科学パイオニア養成プログラム HIGO」「Well-Being 社会を先導する異分野横断型博士人材育成プログラム」などの企画・運営に当たるとともに、その成果の分析、発信を行ってきた大学教育統括管理運営機構 梅田香穂子准教授を講師としてお招きし、熊本大学における異分野横断型大学院教育の概要と成果についてご紹介いただく。

「大学院教育における国の政策的動向と将来の大学院教育を考える」でも強調したように、こと大学院教育に関する限り、国の政策は以前より産業界等、大学以外での活躍を視野に入れた「タコつぼ型ではなく」、「教養やより広い専門性の獲得を重視」した博士人材養成という方向性で一貫したものであったが、実際の大学院教育は、一部の大学院を除けば、従来の「タコつぼ型」教育が続いてきたのが実態と思われる。

いま、「知の総和答申」に基づく大学院拡大政策を前に、各大学は改めて「大学以外でも活躍しうる博士人材養成」へと舵を切るか、従来の「タコつぼ型教育」を維持するかの選択を迫られている。

10年以上に渡り異分野横断型大学院教育を組織的、継続的に実施してきた熊本大学の事例に学び、今後の大学院教育の方向性を考える貴重な機会したい。

日 時：令和8年1月23日(金) 15:00～16:10

場 所：原則zoom（オンライン）にてご出席ください。

対 象：本学教職員・非常勤講師・PEインストラクター・大学院生

講 師：熊本大学 大学教育統括管理運営機構 梅田香穂子准教授

スケジュール（予定）：

15:00-15:02	開会挨拶 高等教育推進センター 菊池芳明
15:03-15:50	講演
15:50-16:05	質疑応答

16:05-16:10

総括 宮城悦子副学長(研究担当)

参加申込：1月21日（水）までに、Formsにて参加登録を行ってください。

申込Forms：<https://forms.office.com/r/4EDErrHqfV>

録画配信について：

当日のご参加が難しい場合には、追って動画を配信いたしますので、録画配信にて受講してください。なお、受講後は動画配信時にお知らせするFormsに入力いただくことで、参加とさせていただきます。

お問い合わせ：教育推進課 学術企画担当 ([acaplan@yokohama-cu.ac.jp](mailto:acaplan@yokohama-cu.ac.jp))